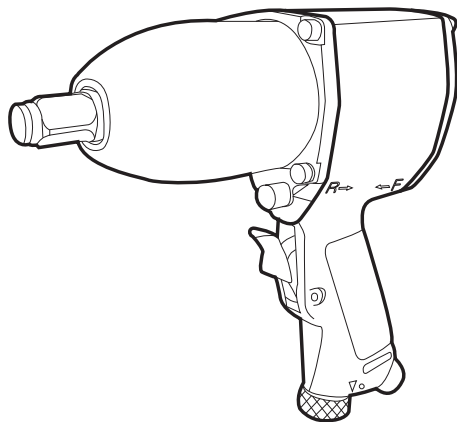


エアインパクトレンチセット



- 各部の名称と機能** 2～3
 - 本体各部..... 2～3
 - 付属品..... 2～3
- 安全上のご注意** 4～5
 - 警告..... 4～5
 - 注意..... 5
- ご使用前の準備** 6～8
 - ソケット・エクステンションバー・
 - カプラプラグの取り付け方 6
 - エアモータ部への給油 7
 - 付属のミニオイルを
 - 取り付けて使用する場合 8
- 使用方法** 9～11
 - 使用方法 9～10
 - エアパーツ接続例 11
- 保守と点検** 12～13
 - インパクト機構部と
 - 前方ベアリング部への給油と掃除 .. 12
 - 作業後のお手入れ 13
- 故障かな?と思ったら** 14
- 仕様** 16

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

このたびはエアインパクトレンチセットをお買い求めいただき、ありがとうございます。
この商品は、**ボルト・ナットの仮締め、ゆるめ作業に使用する空圧工具**です。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の
手順に従ってご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるところに、大切に
保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本取扱説明書のP16は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販
売店名」などの記入があることをお確かめください。
- 当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社（下記・P16
記載）にご連絡ください。



各部の名称と機能

■本体各部

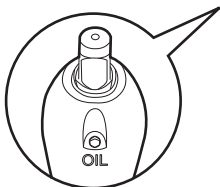
②正逆回転切替スイッチ

①ソケット 差込角

⑧空気排出口

⑤ラバーグリップ

⑦空気接続口
(Rc 1/4)

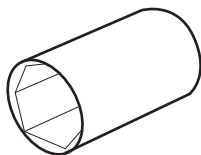


③オイル注入口
(本機先端下側)

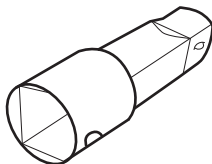
④レバースイッチ

⑥トルク調整つまみ
(4段階)

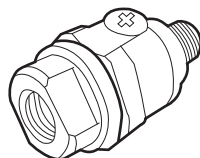
■付属品



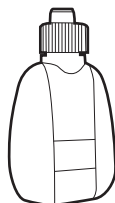
⑨ソケット
(12・13・14・17・19・
21・22・24・27・30mm)



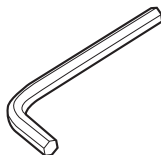
⑩エクステンションバー
75mm



⑪ミニオイル



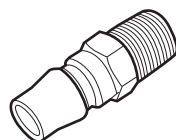
⑫オイルポット
(潤滑油)



⑬六角棒レンチ 4mm



⑭シールテープ



⑮カプラプラグ (R 1/4)

梱包内容の確認

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。
不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名称	機能
①	ソケット差込角	ソケットをここに差し込みます。
②	正逆回転切替スイッチ	ソケットの回転方向を切り替えます。(正、逆回転) P9
③	オイル注入口	本機へのオイル給油の際に使用します。 P12
④	レバースイッチ	引くと始動し、ソケットが回転します。放すと停止します。
⑤	ラバーグリップ	使用時にここを握ります。
⑥	トルク調整ツマミ	トルク値を調整します。(4段階) P9
⑦	空気接続口(Rc 1/4)	カプラプラグ・ミニオイルを取り付ける接続口です。
⑧	空気排出口	エアモータ部で不要となった空気が排出されます。

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

No.	名称	機能
⑨	ソケット (12・13・14・17・19・21・22・24・27・30mm)	ソケット差込角に差し込み使用します。
⑩	エクステンションバー 75mm	ソケットだけでは長さが足りない場合に使用します。
⑪	ミニオイル	本機へ給油をしながら使用する際に使用します。
⑫	オイルポット (潤滑油)	オイル給油の際に使用するオイルが入っています。
⑬	六角棒レンチ 4mm	本機へのオイル給油の際に使用します。 P12
⑭	シールテープ	カプラプラグ・ミニオイルに巻きつけてエア漏れを防ぎます。
⑮	カプラプラグ(R 1/4)	空気接続口・ミニオイルに取り付けて使用します。

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容
『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容
『強制事項』です。

警告



取扱説明書をよく読み、指示に従う。

・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。



ボルト・ナットの締め付け（仮締め）ゆるめにもみ使用する。

・指定用途以外へのご使用は、重大な事故の原因となります。



下記の条件を満たす場所で使用する。

- 雨や水などがかからない、乾燥した場所
- 可燃性のガスや液体、揮発性可燃物や火気が近くに無い場所
- 足場が水平で、安定している場所
- 十分に明るく、ゴミやホコリの無い片付いた場所
- 子どもや、使用者以外が近付かない場所

・上記に反する場所での使用は、火災や感電、爆発などの重大な事故や、けがの原因となります。



分解禁止

分解・改造を行わない。

・事故やけが、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。



保護メガネ・耳栓・作業用手袋を着用する。

・保護メガネは、作業中に万が一ソケットやボルトやナットが破損した場合に、破片から目を保護します。
・作業用手袋は、ケガや振動から手を保護します。



エアインパクトレンチ専用のソケット（先端工具）を使用する。

・エアインパクトレンチは、衝撃を加えることで強力に締め付けます。エアインパクトレンチ用以外のソケットは、衝撃に耐えられず破損する恐れがありますので、必ず専用のソケットを使用してください。

**回転中のソケットに身体を近づけない。**

- ・けがの恐れがあります。

**傷が付いていたり、破損の恐れがあるエアホースは使用しない。**

- ・ホースが破損する恐れがあり危険です。

**エアホース以外のホースを使用しない。**

- ・エアホース以外のホースを使用すると、ホースが破損する恐れがあり危険です。

**空気圧力は0.62MPa以内で使用する。**

- ・0.62MPaを超えた圧力で使用すると、本機が破損する恐れがあります。
- ・低すぎる設定圧力での使用は、本機の性能を十分に発揮できない恐れがあります。

**使用後や、保管点検の際は必ずエアホースを本機から外す。****定期点検を実施する。**

- ・本体や付属品に損傷が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になる恐れがあります。 **P12**

⚠ 注意**本機は大切に扱う。**

- ・転倒や落下などの衝撃により破損や故障が起こり、事故の原因となります。
- ・上に座ったり、重量物を乗せたりしないでください。破損や転倒によるけがの原因となります。



推奨

本機の能力を十分に発揮するために、内径8.5mm以上のホースのご使用をおすすめします。**不要な空転や空打等の無負荷運転は避ける。**

- ・部品の磨耗を早め能力低下の恐れがあります。

**清浄な乾燥した圧縮空気を供給してください。**

- ・エアコンプレッサのタンク内に溜まった水による錆び付きや、焼き付きを防止し、本機の寿命を長持ちさせます。

**使用空気圧力は一定空気圧でご使用ください。**

- ・空気圧の変動により各部の磨耗を早めたり、能力低下の一因となります。

**下記の条件を満たす場所で保管する。**

- ・雨や水などがかからない、乾燥した場所
- ・子どもや、管理者以外が近づかない場所
- ・直射日光の当たらない場所

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



ご使用前の準備

カプラプラグの取り付けには14mmレンチが必要となります。予めご用意ください。

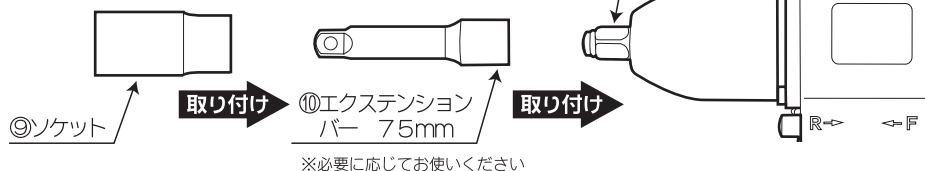


付属品を取り付ける際は、必ずエアホース内の空気を抜き、本機からエアホースを外して行ってください。

■ソケット・エクステンションバー・カプラプラグの取り付け方

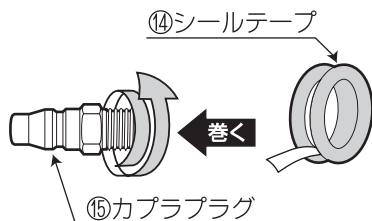
1 使用するソケットを、本機のソケット差込角にしっかりと奥まで取り付けてください。

- 長さが足りない場合は付属のエクステンションバーにソケットを差し込み、本機のソケット差込角にしっかりと奥まで取り付けてください。



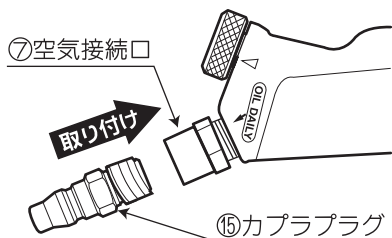
2 付属のカプラプラグのねじ部にシールテープを巻いてください。

- シールテープは、矢印の方向に巻き付け、空気が漏れないようにしてください。

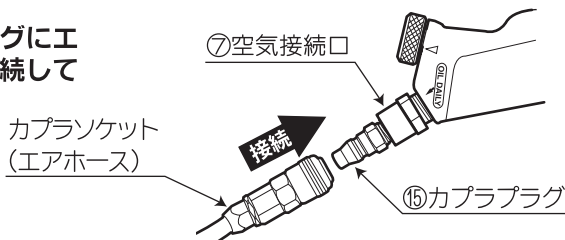


3 本機の空気接続口に、カプラプラグを取り付けてください。

- 空気接続口のキャップを外してから、カプラプラグを14mmレンチで取り付けてください。



4 取り付けしたカプラプラグにエアホース（別売）を接続してください。





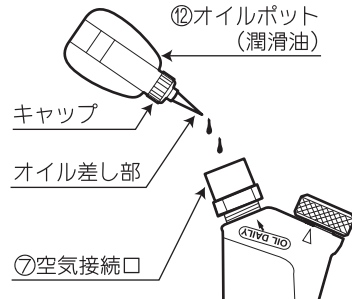
使用する際は、必ず給油を行ってください。
圧縮空気中の水分で錆が発生し、本機が動かなくなることがあります。

本品に付属の専用オイルもしくは、市販の粘度 | SOVG 3 2タービンオイル、
または粘度 | SOVG 1 0スピンドルオイルをご用意ください。

■エアモータ部への給油

1 エアホースを接続しない状態で、
本機のレバースイッチを引いたま
ま空気接続口よりオイルを5～6
滴入れてください。

- 初めてオイルポットを使用する際はキャップ
を外し、オイル差し部を取り出し先端をカット
してください。
オイル差し部とキャップを取り付けてご使用
ください。



2 しばらくレバースイッチを引いた状態にして、オイルを十分に本体
内部に回してください。

3 エアホースを接続し、正・逆回転で約30秒間ずつ運転してください。



オイルを入れすぎると、空気排出口からオイルがにじむことがあります。
屋外やオイルで汚れても良い環境でお使いください。

各部
の名称

安全
上の
注意

使用
前の
準備

使
い
か
た

そ
の
他



ご使用前の準備

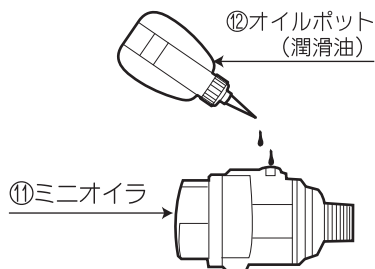
ミニオイラへの給油には⊕2ドライバ、取り付けには17mmレンチ、カプラプラグの取り付けには14mmレンチが必要となります。予めご用意ください。

■付属のミニオイラを取り付けて使用する場合

本品に付属のミニオイラを取り付けることでエアツール内部への潤滑油の供給が簡単に行えます。

1

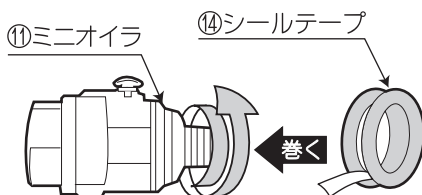
⊕2ドライバでミニオイラの給油口ねじを外し、本品に付属の専用オイルもしくは、粘度ISOVG32タービンオイルか、粘度ISOVG10スピンドルオイルをミニオイラの半分程度給油してください。
給油後、⊕2ドライバでミニオイラの給油口ねじを取り付けてください。



2

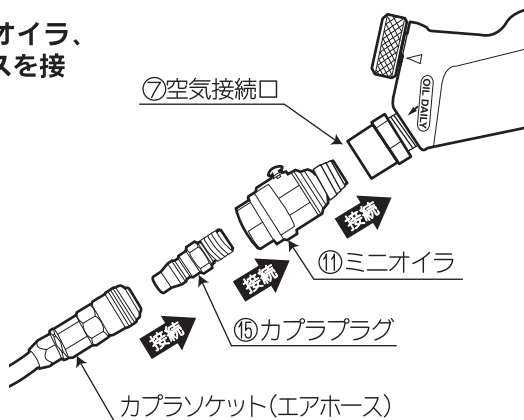
給油したミニオイラのねじ部に、シールテープを2～3回程度巻き付けてください。

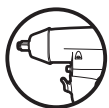
- シールテープは矢印の方向に巻き付け、空気が漏れないようにしてください。



3

本機の空気接続口にミニオイラ、カプラプラグ、エアホースを接続し、ご使用ください。





使用方法



ご使用の際は本品に付属の専用オイルもしくは、粘度1 SOVG32タービンオイルか、粘度1 SOVG10スピンドルオイルの潤滑油を必ず5～6滴程空気接続口より給油するか、付属のミニオイル（注油済のもの）を接続してご使用ください。 **P7・8**

コンプレッサは1.10kW{1.5PS}以上を推奨します。

小型のコンプレッサでも使用はできますが、空気が溜まるまで待つ断続的な作業になる可能性があります。

■使用方法

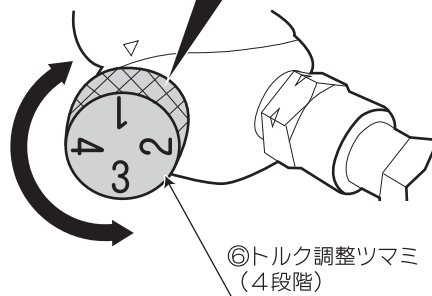
1▶ コンプレッサの空気圧力を0.62MPaに合わせてください。

2▶ 本機のトルク調整ツマミで、トルク値を調整してください。

- トルクは4段階に調整できます。数値の詳細は、**P16**▶ 仕様欄をご覧ください。
- ※一般的な車輛のホイールナットの締め付けトルクは98.1～118N・mです。（詳細については各自動車メーカーにご確認ください。）

＜本機底面＞

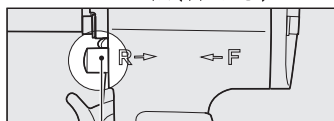
ツマミを回して▽の位置を目安にトルク値を合わせる



3▶ 本機の正逆回転切替スイッチで、回転方向を確認してください。

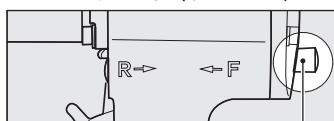
- スイッチが前方向に出ると、正回転（締める）し、後ろに出ると逆回転（ゆるめる）します。

正回転（締める）



②正逆回転切替スイッチ

逆回転（ゆるめる）



②正逆回転切替スイッチ

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

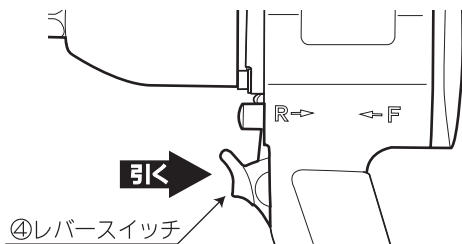


使用方法

■使用方法（つづき）

4 本機のレバースイッチを引くと、ソケット差込角と連動してソケットが回転します。

- 仮締め、またはゆるめたいナット、ボルトに合ったサイズのソケットをご使用ください。



各部の名称

安全上の注意

使用前の準備

使いかた

その他



ご使用前に本機にソケットが確実に取り付けられていることを確認してください。取り付けが確実でないまま使用されますと、本機や対象物を傷めたり、ソケットが外れ事故やケガの恐れがあり大変危険です。



本機の回転速度は高速となっています。インパクト（打撃）がかかるまでは手締めでソケットを取り付けてください。ボルトやナットのねじ山を傷めてしまう恐れがあります。



一般車輛のホイールナットの締め付けを行う際、本機は仮締め専用です。締め付け過多にご注意ください。仮締め後、トルクレンチで適正な締め付けトルクを確認し、本締めを行ってください。ボルトやナットの締め付け不足、過多による損傷や磨耗は重大事故の発生原因となります。



錆び付いたボルトやナットは回らない事があります。3～5回程度レバースイッチを引いて、回らない時は無理をせず、大きい力のツールをご使用ください。

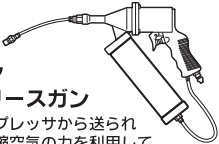
ダスタ

圧縮空気の力を利用してチリやホコリを吹き飛ばします。エアのみ噴出する最もポピュラーなタイプです。



エアグリースガン

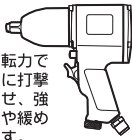
コンプレッサから送られる圧縮空気の力を利用して自動的にグリースを注入する利便性の高い工具です。



オイル給油不要

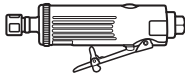
エアインパクトレンチ

エアモータの回転力でボルトやナットに打撃を加えて回転させ、強い力で締め付けや緩めることができます。



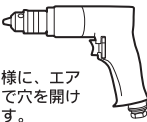
エアグラインダ

エアコンプレッサで圧縮された空気を使って、エアモータの回転力を砥石に伝え、研磨・研削作業を簡単に早く行うための工具です。



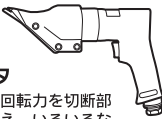
エアドリル

電動ドリルと同様に、エアモータの回転力で穴を開けるための工具です。



エアカッタ

エアモータの回転力を切断部のカッタに伝え、いろいろな金属板を高速で切断する工具です。



オイル給油必要

ミニエアダスタ

軽量で使い易く、ワンタッチで作業ができます。



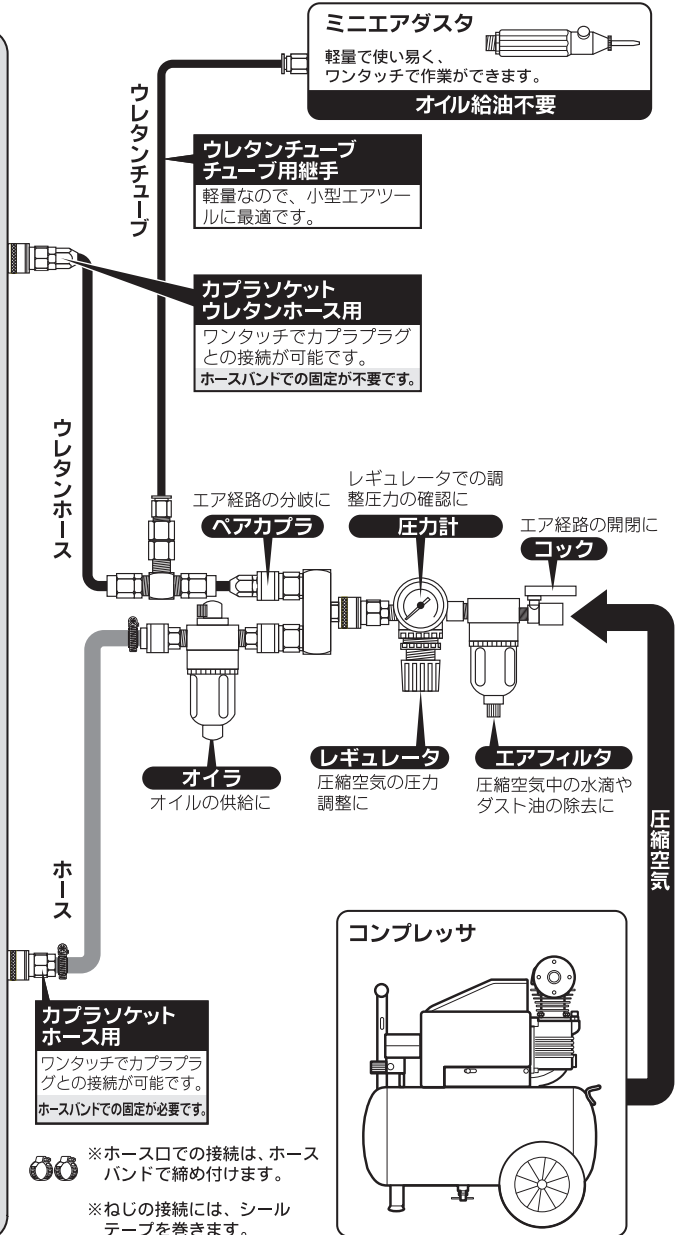
オイル給油不要

ウレタンチューブ チューブ用継手

軽量なので、小型エアツールに最適です。

カブラソケット ウレタンホース用

ワンタッチでカブラプラグとの接続が可能です。ホースバンドでの固定が不要です。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

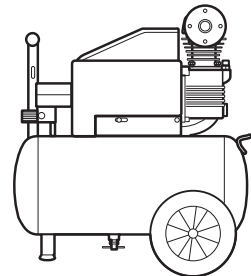
その他

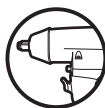


※ホース口での接続は、ホースバンドで締め付けます。

※ねじの接続には、シールテープを巻きます。

コンプレッサ





保守と点検

■インパクト機構部と前方ベアリング部への給油と掃除

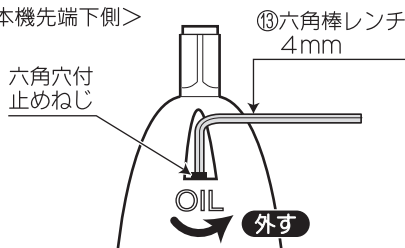


年4回程度インパクト機構部への給油を行ってください。使用頻度が高い（目安：1回の使用時間が1時間以上）場合はインパクト機構部への給油の回数を増やしてください。

1

本機先端下側にあるオイル注入口の六角穴付止めねじを付属の六角棒レンチで外してください。

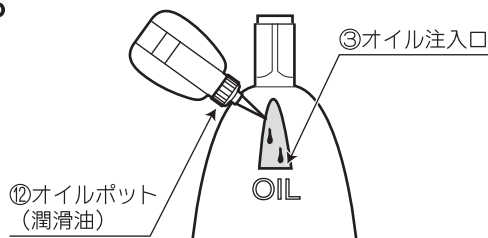
＜本機先端下側＞



2

このねじ穴に、オイルを15～16滴程入れてください。

＜本機先端下側＞



- オイルは本品に付属の専用オイルもしくは、粘度1 SOVG3 2タービンオイルか、粘度1 SOVG10スピンドルオイルをご使用ください。

3

六角穴付止めねじを元に戻し、エアホースを接続して正・逆回転で約30秒間ずつ運転してください。

- 運転時、排出空気と共にオイルが飛散することがありますのでご注意ください。

4

六角穴付止めねじを再び外し、本体の中に残っているオイルを全量外に出した後、六角穴付止めねじを元に戻して確実に締めてください。

- 排出したオイルに極端な汚れ、粘度がある場合は2～4の操作を繰り返し行ってください。



本体の中に残っているオイルを全量外に出してください。本体の中に給油時のオイルが多量に残っていると性能が低下します。

■作業後のお手入れ

1 エアホース内の空気を抜き、本機からエアホースを外してください。

2 本体やグリップの油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしてください。



- ・ガソリン、シンナー、石油等での清掃は本体を痛めますので、おやめください。
- ・水洗いは絶対にしないでください。

3 各部取付ねじのゆるみ、本体の破損などの点検を行い適切な場所へ保管してください。

- 各部取付ねじを点検し、ゆるんでいたら締め直してください。
- 本体や付属品に損傷が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になる恐れがあります。



次の場所には保管しないでください。

- 軒先など雨がかったり、湿気のある所
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 直射日光の当たる所

各部の名称

安全上の注意

使用前の準備

使いかた

その他



故障かなと思ったら

●次のチェックリストに沿った点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
レバースイッチを引いても作動しない。	①エアコンプレッサから空気が供給されていない。	①エアコンプレッサの電源、エアコックが開かれているか、エアホースが接続されているか確認してください。
レバースイッチを引いてもソケット差込角が回転せず、空気排出口から空気が排出される。	①エアモータ部が固まっている。	①本機の空気接続口より給油を行い、手でソケット差込角を数回、回してください。 P7
回転が不安定。	①エアモータ部が汚れている。	①本機の空気接続口より給油を行ってください。 P7
トルクが弱い。 回転が遅い。	①エアコンプレッサの圧力が下がっている。	①エアコンプレッサの圧力が上がるまで待ってください。
	②エアコンプレッサのレギュレータの圧力設定が低い。	②エアコンプレッサのレギュレータの圧力設定を本機使用圧力まで上げてください。
	③エアホースが細すぎる。 エアホースが長すぎる。	③エアホースを短くする、もしくは太くする。または、短く・太くしてください。
	④本機のトルク調整が低く設定されている	④本機のトルク設定値を1つ大きくしてください。 P9
	⑤エアモータ部が汚れている。	⑤本機の空気接続口より給油を行ってください。 P7
空気排出口から汚れたオイルが出てくる。	①エアモータ部が汚れている。	①本機の空気接続口より給油を行ってください。 P7
空気排出口からオイルが大量に出てくる。	①オイルの入れすぎ。	①空気排出口をタオルなどで押さえ、数秒間運転してください。

※上記のチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

型 式	AIM-530PA
ソケット差込角	12.7mm
推奨使用圧力	0.62MPa
締め付けトルク (約)	①190N・m ②290N・m ③390N・m ④530N・m
無負荷回転速度	約7,000min ⁻¹
空気消費量	約120L/min
本体質量	約2.4kg
推奨使用ホース	内径8.5mm以上
セ ッ ト 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・本体 1台 ・ソケット 12・13・14・17・19・ 21・22・24・27・30mm 各1個 ・エクステンションバー 75mm 1本 ・ミニオイル 1個 ・オイルポット (潤滑油) 1個 ・六角棒レンチ 4mm 1本 ・シールテープ 1個 ・カプラプラグ R1/4 1個 ・取扱説明書 1冊

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品 名		エアインパクトレンチセット	お買い上げ日※	年 月 日
型 式		AIM-530PA	保証期間	6ヶ月
お客様※	ご住所	〒	販売店※	住所名 店名 電話番号
	ご氏名	様		
	電話番号	- () -		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外 (例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載) に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 株式会社パオック

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL: (0256) 33-5574 FAX: (0256) 33-5559
URL <http://www.paock.co.jp>